

令和7年度事業報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日

特定非営利活動法人子どもシェルターモモ

1 事業の成果

令和7年度も子どもの権利擁護を基本に福祉、司法、医療、心理、就労、居住、教育などに関わる方々と連携して子どもたちに安全で安心できる居場所の提供を行い、自立に向けて職員と理事が協力し運営を進めてきました。

- ① 法人としての活動を進めやすくするために、月1回のホーム長会議の開催、職員と理事による研修チーム、理事による財政検討チームを立ち上げ、職員と理事の関係づくりと法人の今後を展望し、共有することに力を注いできました。
- ② 職員のヒアリングを理事で行い、出された要望を基に、待遇改善に取り組んできました。自立支援担当職員、個別対応職員配置が自立援助ホームにも可能になったことで処遇加算があり、今年度初めて賞与の支給ができるようになりました。就業規則の改正等、職員が働きやすい状態を作り出すことができました。
- ③ 児童福祉法上では子どもシェルターと自立援助ホームの職員配置基準は6名定員に対し2.5人ですが、令和7年度から、各部門毎に4名の職員を配置したことにより、職員の宿泊日数の軽減や、一日2名体制で業務にあたる日が増え、職員同士で相談しながら子どもへの対応が図られるようになりました。
- ④ アフターケア事業部では、令和7年度も岡山市から「社会的養護等自立支援拠点事業」を委託され、岡山市内の児童養護施設5カ所等と連携し事業を進めてきました。年間の利用者は100名を超え、支援件数は4,700件を超えるようになりました。モモ出身者より、他の施設出身者の方が多くなっており、それぞれが抱えている問題が多種多様で社会的養護出身者の抱えている困難さが浮き彫りにされています。しかし、岡山市からの委託費は国が決めた基準には届かず、職員への負担が増大しており、岡山市との話し合いに令和8年度も引き続き働きかけていく必要に迫られています。
- ⑤ 職員と理事の研修は研修チームからの要望をふまえ、毎月、ホーム毎に子どもへの日頃の関わりや、発達特性を持った子どもへの関わりについて行われています。また2か月毎に職員全員を対象としたケース検討会の開催など数多くの研修を行ってきました。令和7年度は「ハラスメント」と「自死」についてを加え、理事と職員で研修を行いました。第三者評価でも研修については高い評価を得ています。
- ⑥ これまでの活動を振り返る機会にするために、令和7年度初めて、子どもシェルターモモの家、自立援助ホームあてんぼ、学南ホームの3つの部門について、「第三者評価」を受けました。3つのホーム共に子どもへの支援についてはそれぞれの評価基準に沿った活動ができていると高い評価を得、職員、理事共に自信が持てました。また、改善点として指摘された今後の中・長期計画の策定については令和8年度の課題としました。
- ⑦ 社会福祉法人化については担当課に打診をしています。令和8年度は法人内でイメージを出し合いながら前へ進めていきます。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名		事業内容		
子どもシェルター運営事業		子どもの緊急避難場所として子どもシェルター「モモの家」を運営。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
令和7年4月 ～令和8年3月	非公開	4人	15歳から20歳くらいまでの緊急避難を要する女子：利用者9名（新規入居10件、退所6件）	22,238

定款の事業名		事業内容		
自立援助ホーム運営事業		女子用自立援助ホーム「あてんぼ」の運営。虐待等の理由から家庭や施設等で生活できなくなった子どもたちが社会で自立して生活するための生活支援等を行った。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
令和7年4月 ～令和8年3月	岡山市北区 法界院	4人	15歳から20歳までの自立を目指す女子：利用者10名（新規入所4件、退所6件）	26,109

定款の事業名	事業内容

自立援助ホーム運営事業		男子用自立援助ホーム「学南ホーム」の運営。虐待等の理由から家庭や施設等で生活できなくなった子どもたちが社会で自立して生活するための生活支援等を行った。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
令和7年4月 ～令和8年3月	岡山市北区 学南町	4人	15歳から20歳までの自立を目指す男子：利用者8名（新規入所4件、退所2件）	25,785

定款の事業名		事業内容		
児童養護施設等退所者に対するアフターケア事業		子どもシェルターや自立援助ホームを退所した子ども、社会的養護経験者等の子ども・若者に対して「アフターケア事業」として「en」を開設。他のNPOや関係機関等と連携して、社会的養護経験者が社会的に自立した生活を送れるよう、居場所の提供、生活支援、就労支援、住居支援等を行った。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
令和7年4月 ～令和8年3月	岡山市北区 京町 / 岡町	17人	児童養護施設等を退所した子ども等：利用者のべ4,826件(支援対象実人数：退所前13名/退所後101名)	24,749

定款の事業名		事業内容		
フォローアップ		子どもシェルターや自立援助ホームを退所した子ども、児童養護施設等を退所した子ども・若者に対し、助成金等を活用して学習応援を行った。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
令和7年4月 ～令和8年3月	岡山市内	1人	1名の児童に対し、専任の講師をあて、学習支援を行った。	42

定款の事業名		事業内容		
子どもの問題についての啓発活動		外部からの講演依頼があり、虐待が子どもに及ぼす影響や子どもの人権について多くの市民の理解を得ることができた。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
令和7年4月 ～令和8年3月	岡山市内	2人	岡山県教育委員会人権教育課研修、生徒指導担当教員等を対象に講演や助言者として登壇した。	0

定款の事業名		事業内容		
子どもの問題についての啓発活動		「ボランティアスタッフ養成講座」を対面で10講座行った。包括的性教育推進者、被虐待経験者、児相所長、精神科医を講師に現在の子どもが抱える問題への啓発を行い、一般参加者を含め職員にとっても実りの多い学びの場を提供した。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
令和8年2～3月	岡山市内	5人	受講者のべ154人	278

定款の事業名		事業内容		
その他、この法人の目的を達成するために必要な活動		岡山県共同募金会「地域から孤独をなくそう」ささえあいプロジェクトとして、例月でケース検討会を行い、法人内外の関係職員と連携を強めた。またホームページを刷新し、内容を「相談者向け」「支援者向け」「法人概要」に分かりやすく分割し、閲覧者の要求に合わせたものになるよう改訂した。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
令和7年4月 ～令和8年3月	岡山市内	3人	法人理事、職員、一般人	2,322

定款の事業名		事業内容		
その他、この法人の目的を達成するために必要な活動		遺贈による子ども基金(枝松百合子基金)として、当法人の各ホームに在籍している子どもに対し、祝い金の支給や資金の貸付を行った。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
令和7年4月 ～令和8年3月	岡山市内	3人	当法人のホームを利用した子ども・若者のべ12名	210

定款の事業名		事業内容		
児童養護施設等退所者に対するアフターケア事業		橋本財団助成を活用し、一人暮らし体験の場の提供や、それに伴う家電・生活用品の整備等を実施した。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
令和7年4月 ～令和8年3月	岡山市内	4人	自立を目指す子ども・若者のべ5名	1,200

定款の事業名		事業内容		
児童養護施設等退所者に対するアフターケア事業		赤い羽根福祉基金「盛和塾リスタート応援助成」を活用し、再就職を目指す若者の無収入時の生活維持や就職活動・資格取得等にかかる経費の支援を実施した。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
令和7年4月 ～令和8年3月	岡山市内	4人	再就職を目指す社会的養護出身の若者のべ5名	1,259

定款の事業名		事業内容		
その他、この法人の目的を達成するために必要な活動		第三者検証委員会の実施および結果報告・緊急対策の検討。社会福祉法人化に向けた中・長期計画の作成、および法人全体の事業共通経費・管理業務。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
令和7年4月 ～令和8年3月	岡山市内	3人	法人理事、職員	7,418